

# 会 議 録

件 名： 第5回一宮町中央公民館建設検討委員会  
年 月 日： 令和6年11月6日（水） 10:00～11:25  
場 所： 一宮町保健センター 会議室  
出席委員： 小関義明委員・川城茂樹委員・藤井幸恵委員・小高 隆委員・立花亜由美委員  
渡邊恵之助委員・岡田一人委員・藤井 敦委員・村山裕紀委員・長島豊美委員・  
齊藤繁美委員・柳澤伸子委員・福邊克吉委員・中村雅紀委員・川田しのぶ委員・  
鈴木祐子委員  
欠席委員： 大場謙次郎委員・鶴沢清永委員・吉野繁徳委員  
事務局： 教育課 渡邊課長・山口副主幹・宇野主査・中村主査補・田中  
関係課職員： 総務課 諸岡副主幹  
オブザーバー： 榎本建築設計事務所 風戸氏・森川氏・牧野氏  
都市環境課 酒井主幹・大多和係長

## 1 開会

2 委員長挨拶 小関委員長

## 3 報告事項

- (1) 第4回一宮町中央公民館建設検討委員会議事録について  
前回議事録を事務局が読み上げました。

## 4 議事

- (1) 一宮町中央公民館の整備に関する検討について

① 検討結果報告書（案）の報告内容について

前回までの会議で協議された内容を踏まえ事務局側で作成した報告書（案）を読み上げました。

（報告書（案）概要）

検討委員会の協議結果として

- ・今後、建設する施設は、教育を目的とした公民館に限定せず、複合施設として公民館の機能を含めた形で、新築で整備すること
- ・建設費用も高額となるため、新たな基金の設立や国の支援制度（補助金・交付金・交付税）を活用した建設事業計画を策定すること
- ・住民ニーズ調査等の結果を踏まえ、新たな施設の建設場所は現在の公民館と同位置または一宮町役場周辺に建設すること
- ・町民の災害時における避難所の不安を払拭するためにも高台にあるGSSセンターなどについては避難所としての機能を強化すること
- ・複合施設の計画作成や国からの支援を受けるための準備に数年間を要するが、3～5年後を目標に新たな施設の建設工事に着手すること
- ・現公民館については新しい施設の供用開始までの期間、最低限必要となる修繕を行うこと

### ○小関義明議長

ただ今、事務局から説明のあった報告書（案）について、修正点等ある方はご意見を頂戴したい

**【意見】 鈴木祐子委員**

報告書ではなく、この委員会について意見がある。この委員会では全般的に予算のことや優先順位などについて話し合いがあったが、自分は専門家でないため、話している内容が理解できていない。こういうことは議会などで話し合ってもらいたい。公民館の再建について何年も待ってられないという意見も出たが、普通は委員会等で何年も掛けて協議をするものではないのか。本委員会は7月から始まり、十分に議論できていない印象である。委員の中には発言していない人もおり、今後利用してほしい若い世代が委員に入っていないので、これで終了してしまうのはとても残念に思う。もう少し時間をかけて協議すべき。そういう意味でももう少し分かりやすい内容で自分的には「ハコ」より「中身」について再検討できる体制の構築を求める。

**【意見】 渡邊恵之助委員**

そもそも、本委員会は「今の中央公民館をどうするか」を検討する（協議する）委員会である。委員会を何回か開催しこの委員会では「複合施設を作りましょう」となり、今後はこれまでの「公民館」としての狭い定義ではなく「複合施設」として新しいステージに移り引続き皆さんで検討してくださいよという報告書である。よって、複合施設についてどのような機能を持たせるのかなどの検討（協議）については、次の複合施設検討委員会になるのか分らないがそこで議論されていくことになる。よって、今回の報告書では「複合施設として新設する」とことと、工事着手までの現公民館における最低限必要な修繕の内容も盛り込まれているため自分としてはこの報告書の内容で良いと思う。

**【質疑】 村山裕紀委員**

基本的にはこの委員会の報告書なので、この報告書には具体的な中身を記載するというよりはここで出た意見をまとめ次の新しい体制に報告するための報告書であってその意見を採用する・しないは次の体制で判断されるという認識でよいか。そこで報告書の「4. 現公民館に対する修繕」において3つ挙がっているが、アンケートとかにはほかにも色々意見があったと思う。この3点を選んだ理由は何でしょうか。

**【回答】 事務局**

事務局側で今の公民館について修繕をどこまでやるのかという検討を進める中で今すぐできるものと、3～5年後に解体・新築するために壊してしまっても住民から特に要望が多いものを選定させていただき報告書に書かせていただいた。

**【意見・質疑】 藤井敦委員**

報告書（案）の「4. 中央公民館の修繕」において、今後更に利用者の意見を聞き、記載された3点以外に追加することができないのか。（経年劣化した備品の交換など）。またここで想定している修繕はどのくらいの予算を想定しているのか。また空調の修繕については去年500万程度の予算を付けて対応しているはずである。また今後は公民館ではなく「複合施設として整備する」となると担当が教育委員会だけに絞った体制ではなくなることで、つまり町役場の中の企画課や総務課がいよいよ入ってくると思うが、この辺りもしっかり明記していないとあやふやになってしまう可能性がある。最後に、本委員会の開催については、今回で最後のよ

うな感じになっているが、自分としてはもう少し議論を続けた方がいいと思う。

**【回答】事務局**

4. 現行の公民館に対する修繕については、新たに要望項目として追記することは可能です。修繕の想定予算で大きいのは冷暖房施設（空調）で、報告書内で想定している空調設備としては、1階の大会議室の空調となります。

また、ご指摘のとおり昨年度、1階の事務室・図書室の空調が故障したため、修繕を実施しております。

大会議室の空調についての修繕費は、現在見積依頼中のため具体的な金額まではわからないが概ね2,000万円程度となると思います。なお、新調予定の空調機器は別の施設に移設することは技術的には可能であること確認済みです。また、スリッパの廃止やトイレ、館内照明の取り替えなどは比較的軽微な修繕となるので1件あたり、高くても数百万円レベルの修繕になる。また複合施設の検討に伴う役場内の体制見直しについては、まず、本委員会から教育長に報告書をいただいた後、教育委員会議に諮り、その後、町長含め、他課長へも報告していく流れとなる。この報告をうけて役場内でどういった体制を構築していくのかの議論がなされていくので、この会議の中では、複合施設建設に伴う体制については、教育委員会（事務局）側から申しあげることにはできない。なお、会議については、今日第5回目の会議として開催しておりますが、今日で結論がでない場合や継続検討としたい場合には、事務局側としては妨げるものではないので、是非ご検討いただきたい。

**【補足】事務局**

複合施設を目指す体制について、今後町部局も入ると思うので全庁的に進めてもらいたいと要望として記載することは可能です。

**【意見】川城茂樹委員**

渡邊委員と同じく中央公民館建設検討委員会としては終了した方がよいと思う。第4回目で「新築で整備し、複合的施設が望まれている。この先補助金や起債を活用しながら計画を決め、その間の公民館は必要最低限の補修で対応する。この内容でまとまると認識してよいか」と事務局が確認しまとまっている。町も予算や今後の体制について決めていく必要があり、この委員会が延びると公民館も遅れてしまう。本日の内容を踏まえ事務局側で修正し、委員長と副委員長が最終確認し提出すればよいと考えるがいかがか。

**【意見】村山裕紀委員**

この報告書を見た時、大きなハコモノを作ろうよという話に見えた。そんな大きな施設を作って大丈夫なの？という声が出ると思うので、ランニングコスト（維持費・維持管理費）も配慮しながら進める旨の文言も入れた方がよいと思う。

**【回答】事務局**

維持管理費を考えた適切な規模の話だと思うが、この旨報告書に盛り込むことは可能です。

**【意見】渡邊恵之助委員**

自分的には、この報告書内容で特段問題ないという認識でいたが、ほかの委員からの意見を踏まえると報告書の中に中身についても住民ニーズ調査結果等を踏ま

え盛り込めたらさらにより報告書になると思う。

**【意見】 川田しのぶ委員**

報告書自体はすごくまとまっていると思う。ただ「町民の様々な要望を叶える複合施設」という言葉の中にはすごく大きなものが含まれており、新施設には一体なにが含まれているのだろうかと感じてしまうと思った。

住民ニーズ調査等で回答された住民が関心を寄せているのは新築云々よりも中身であり、それがスリッパの話だったり剝製を片付けてほしいというものであったり、自習できるスペースや机やイスであったり、図書室の中に座れるソファがほしいなど、ちょっとしたことで叶えられる要望が多いと感じた。自分としてはこの建設検討委員会をこれで終了としていいと思うが、住民からの個々の要望を次に繋げる意味でも委員会とかではなく「今の公民館を新築までの間いかに上手に使うかを考える部会」を立ち上げてみてはどうかと思う。それぐらいやらないと小さな意見まで拾い上げられないのではないかとと思う。

**【意見】 鈴木祐子委員**

一番時間を掛けて検討するべきは中身であり、他自治体の公民館建設においても中身の検討で長い時間を要している。そこが一番楽しいところであり検討のしがいのある部分である。アンケートについては、昨年、教育委員会が公民館利用者に限定してアンケートを取っており、その結果は利用者の声として大事にするべきだと思うので開示を求めたい。また、何度も言っているように一番時間をかけるべきは施設の中身（設備）であり、一番時間が掛かるところでもある。これから中身について検討していくことになるだろうが、それで工事が遅れても本委員会に責任がないことを申し上げたい。

**【補足】 事務局**

報告書の中に細かい要望や機能が載っていないと指摘があったが、住民の個々の意見を漏れなく報告したいので、本報告書と併せ住民ニーズ調査の完成版を教育委員と議会（議員）全員に提出したいと考えている。

次に、改善提案ですぐに対処できそうな案件については、教育委員会のほうで優先順位を決め、予算要望し、予算をつけていただいてから実行していく形となる。また昨年利用者向けに行ったアンケートについては今回ゼロベースで検討していくことが大前提にあったため、公開はしていない。本委員会においては、今年実施したアンケート結果を用い報告書をまとめさせていただきたいと考えている。

なお、前年度の利用者向けアンケート結果については、必要に応じて開示することは可能であるが、設問が異なり、混乱を招くおそれもあるため、去年のアンケート結果の活用方法についてはすぐに回答できないため一度検討する。

**【意見】 渡邊恵之助委員**

新しい施設に何を入れるかは新たな所で考え、今の公民館を直すことは皆さんの了解を得たと捉えてよいか。直したうえで使う当事者、調理室はこう使い勝手が悪いとか、文化協会で色々なサークルが使っており、ピアノの調子が悪いとか意見が出ているが、それは個々の話であり個別に解決するしかない。

**【意見】 川田しのぶ委員**

新しい施設ができるまで今の公民館を使うことになるが、あと5年使うことを考える人を再度募集してほしい。そうでないと小さな意見まで吸い上げられないのではないかと。

【意見】小高 隆委員  
公民館サークルや子育て団体、配食ボランティアの皆さまの中から代表者を出して意見を聴取する方がよいと思う。

【意見】福邊克吉委員  
この報告書の「4. 修繕」については、特定の項目を記載するのではなく「新しい施設が完成するまでの間、現公民館を今後も使用していくにあたり、必要な修繕を対応することを要望します。」でよいのでは。

【意見】小高 隆委員  
ここに挙げられている3点の修繕案については、アンケート調査等で特に修繕の要望の声が多かったものであると推測されるが、実際には、小さいものも含め修繕してもらいたいところはたくさんあると思う。

【意見】藤井 敦委員  
長柄公民館は長い年月をかけ議論しているが一度議会で否決されている。12月議会の後を見届けたい気持ちがあるのであと1回でも集まって意見を出し合う場を設けてほしい。12月の議会で否決されリフォームと増築に戻る可能性もある。

【意見】藤井幸恵委員  
① 「1. 検討結果の基本的な方針」2 ページ目の9行目「貴重な活動」ではなく「貴重な場（所）」ではないか。  
② 新施設完成までの代替案として民間施設の活用（シーサイドオーツカや一宮館等）を検討してほしい。差額を補助すればそれでもいいと言う人もいるだろうし、費用も安く済む。  
③ 「難しいことは議会で考えて」ではなく、皆さんと一緒に考えていきたい。

●まとめ 小関義明議長  
概ねこの報告書でよい。いくつか修正点が挙げたのでそれを基に修正し、修正後の報告書を委員長、副委員長で精査し、教育長へ提出する方向でよいのか。

【質疑】村山裕紀委員  
修正後の報告書について我々にも共有してもらえるのか。

【回答】事務局  
郵送にて提供します。

【意見】藤井敦委員  
この郵送で終わりにするのか。

【意見】福邊克吉委員  
決を採って決めるべき。

●小関義明議長  
修正案について内容を委員長、副委員長精査するに一任するでよろしいか。

【採決結果】 賛成：13、反対：2

●小関義明議長  
賛成多数のため、一任で決しました。

#### 4 その他

(事務局) 特になし

●小関義明議長  
それでは、本検討委員会は最後になりました。  
皆さま色々ご協力いただきありがとうございました。

#### 5 閉会